

白石市議会改革特別委員会

1. 招集日時 平成27年2月25日(水)午後1時
2. 場 所 白石市議会 第1委員会室
3. 開 会 委員長あいさつ
4. 本日の会議に付した事件

(1) 新たな議会改革項目の策定について

5. その他
6. 出席委員

小 川 正 人 委 員 長	山 谷 清 副委員長
管 野 恭 子 委 員	佐久間 儀 郎 委 員
山 田 裕 一 委 員	

7. 欠席委員

澁 谷 政 義 委 員

8. 傍聴者

な し

9. 事務局職員出席者

佐 藤 泉 寿 議事係長

~~~~~  
午後1時00分 開会

◎小川正人委員長 会議に入る前にお願いいたします。本委員会の議事は、全てテープに録音し会議録を調製いたしますので、発言については委員長の許可を得た後、発言されますようお願いいたします。

ただいまから議会改革特別委員会を開会いたします。

澁谷委員から欠席の届け出があります。

それでは、早速協議事項に入ります。

新たな議会改革項目の策定についてを議題といたします。

先月実施した全議員のアンケート調査が集約され、皆様には事前に調査結果が配付されております。本日は、そのアンケート結果から、今後検討していく必要があると思われるものを委員の皆さんと協議しながら、新たな改革項目としたいと考えており

ます。

お配りしています資料について、事務局から説明をお願いいたします。

◎佐藤泉寿議事係長　今回は、アンケートを集約したものを、先日も皆様にご配付しておりますが、同じものをきょうも置いております。その中から、具体的な記載があったものについて、事務局のほうで区分ごとに分けて集約しております。それが、レジメの裏面になっておりますが、こちらに区分ごとに、それぞれ情報公開に関する取り組み、住民参加に関する取り組み、議会機能強化に関する取り組み、議員資質向上に関する取り組み、その他ということでも5つに分けて区分しております。

既に実施している取り組みを残念ながら書かれている方とかいらっしゃいますし、あと、あしたやる予定なんですけれども、政策企画調整会議のほうで、一般会議の周知方法とか、そちらのほうに関して書かれている部分については、もう既に早目にやりたいということで、あしたの政策企画のほうにかけることにしておりますので、そこについては除外させていただいております。レジメ裏面のほうの項目のほうをごらんいただきたいと思っております。

まず、情報公開に関する取り組みにつきまして、まず最初に、議案書・予算書をホームページに掲載するというようなことで、こちらは佐久間委員のほうから記載があったものになっております。

その次、常任委員会や全員協議会をネット配信する。こちらは管野委員のほうから、常任委員会もネット配信してはということが書かれておりますし、あと四竈議員のほうからは、ライブ中継を本会議以外も配信してはどうかというようなことがありました。あと小川委員長のほうからも、全員協議会は議場で行うべきであるということで、ちょっとこれ趣旨が違うかもしれませんが、同じような部類でくくらせていただいております。

次の、議長交際費をホームページで公開する。こちらでも佐久間委員のほうで書かれているものです。

次の、行政視察、政務活動費による研修などの各議員の報告書をホームページで公開する。こちらは、安藤副議長のほうにも書いてありまして、あと佐久間委員、山田委員、小川委員長のほうも書いてありましたので、ニュアンスが若干違う部分もあるかもしれませんが、一応このくくりで項目として挙げさせていただいております。

次の、本会議、常任委員会以外の会議の会議録をホームページに掲載する。こちらは、山田委員から書かれたものを掲載しております。

次の項目です。住民参加に関する取り組み。

議会に対する市民アンケート調査を実施する。こちらは、伊藤議員のほうから書いてありました。そちらを記載しております。

次の、土日、夜間議会の開催。こちらは、佐久間委員のほうに記載があったものを載せております。

続きまして、議案審議に市民が直接発言する機会の検討ということで、こちらも佐久間委員が記載されたものを書いております。

次は、子ども議会・中学生議会・高校生議会等の開催ということで、こちらいろいろ書き方あったんですけども、管野委員、佐久間委員、大野議員のほうから同様な、子ども議会・中学生議会・高校生議会というようなことが書いてありましたので、ここはくくりに入れて、このように書かせていただいております。

次、空き店舗を利用して議員と対話できる場の設置ということで、これは佐藤英雄議員のほうから書かれていたものを記載しております。

次、議会に対する意見や感想の随時受け付け（議会ネットモニターの設置）ということで、こちらは、山田委員のほうに書かれていた議会ネットモニターの設置というようなことと、四竈議員のほうに、傍聴の感想や議会に対する要望・提言等を随時受け付けるシステムをというようなことが書いてありましたので、ここをまとめさせていただいたものになっております。

次の項目になります。議会機能強化に関する取り組み。

1つ目が、事務局からの連絡事項をFAXからメールにするということで、こちらは伊藤議員の方からの記載になっております。

次、議場へのPCや質疑等に活用する資料等の持ち込みに係る取り扱いということで、こちらも、伊藤議員のほうにPCの持ち込みというようなことが書いてありました。あと、実際、前の議会の際に山田委員の方で資料の持ち込みというようなことがありましたが、そちらの取り扱いに関する方法が明確になっていないというような部分もあるので、ここPCだけではなくて、資料等の持ち込みというものもこちらでつけ加えさせていただいて、項目として載せさせていただいております。

もう一つ、次ですね。議案資料のペーパーレス化ということで、こちら佐久間委員

のほうで記載がありました。

次が、意見書の賛否について結論のみの持ち寄りでなく、議論する場が必要。こちらは、水落議員のほうで記載されておりました。

次、新たな議会改革の体制づくり（改選後の体制づくり）ということで、こちらは佐久間委員のほうから、議会改革検討会議、これは仮称ですけれども、これの常設ということと、あと山田委員のほうから議会改革常任委員会というようなことでしたので、名称、あとは特別委員会になるのか、別な会議体にするのかというのはありますが、ここを一くくりにさせていただいて、新たな体制づくりということでまとめさせていただいております。

次が、常任委員会・特別委員会のあり方ということで、こちら結構書かれていた方が多いのですけれども、管野委員、佐久間委員、小川委員長が書かれておりましたので、こちらについて載せさせていただいております。

続きまして、常任委員会視察旅費について、こちらは委員長のほうで書かれておりましたので、載せさせていただいております。

次が、通年議会の是非、これは、佐久間委員のほうで書かれていましたので、載せさせていただいております。

次が、議会事務局の職員数についてということで、こちらは小川委員長のほうで書かれておりました。

次が、議会改革度ランキング上位議会について全議員で調査研究する。こちらは、山田委員のほうで書かれていたものを記載させていただいております。

次の項目です。議員資質向上に関する取り組みの1つ目、専門家による研修会の開催、これは結構皆さん書かれておまして、伊藤議員、管野委員、保科議長。あと大野議員も書かれておりました。

続きまして、年間研修計画の策定と検討委員会の設置ということで、こちらは平間議員、四竈議員、小川委員長が研修に関して書かれておりました。

続きまして、新人議員への研修会ということで、こちらは佐久間委員と小川委員長のほうで記載がありました。

続きまして、各議員が年間目標を設定し、報告会で検証するというので、ちょっと書き方を省略している部分はありますが、こちらは山田委員のほうで書かれていたものを記載させていただいております。

続きまして、近隣議会との交流を図れるよう協議会の設置ということで、こちらも山田委員のほうで書かれていたものと、大町議員の方で書かれていたものが、他市町村議員との交流というところがありましたので、こちらをあわせて書かせていただいております。

その他の項目ということで、ちょっと上記の4項目に入らないかなというようなものを入れております。

1つ目に、市内高校への議会傍聴呼びかけということで、これは管野委員から。

続きまして、正副議長任期の申し合わせということで、佐久間委員、小川委員長が書かれております。

続きまして、会派代表選出の際の正副議長の取り扱い、こちらは小川委員長。

公式行事への正副議長欠席時の対応、これも小川委員長。

最後の、長期欠席等の場合の議員報酬の減額ということで、こちらも小川委員長ということで、こちらの項目について、私のほうで、機械的にまとめられるのかなというところはまとめさせていただいて、一覧表のほうをつくらせていただきました。この部分について、この特別委員会の中でどれを今後検討していくかというところをご協議いただきたいんですけども、よろしく願いいたします。

◎小川正人委員長 事務局からの説明は終わりました。

事務局説明に対して何か質問ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎小川正人委員長 ないですね。（「はい」の声あり）

それでは、これを検討するかしらないかをまず各委員の賛否をとって、過半数をもって検討するとするか、もしくは2人以上の同意を得て検討とするか、どういう、選別の仕方について皆さんの考えがあったらお示してください。

例えば、1人でも検討すべきという意見があったら検討するとか、その検討の選別する方法について。全会一致とか過半数とかいろいろなことがありますね。常識だったら過半数というのが常なんだけれども、ただ、ここは特別な委員会でございますので、まず皆さんの決めたことに従って、それをルールとしてやりたいと思いますので、意見があったら聞かせてください。

◎佐久間儀郎委員 今、事務局からご説明ありましたが、これについては誰と誰とかというお話もあったので、せっかくこういうふうに議員に向けたアンケート調査し

たわけですから、この項については全 18 人の何名がこういう意見を出されたとか、人数割というのですか、その辺の多い分について優先順位を設けて検討するとか、そういう仕方もあるかとは思いますが。

◎小川正人委員長 提出議員の数によって決めると。そうした場合、今度 1 名で出ていても、1 名が不利になるわね。

◎佐久間儀郎委員 最後のほうには、確かに残されていってしまいますけれども。

◎小川正人委員長 それは案ですからいいです。

◎山田裕一委員 私は、ここに今回、泉寿さんのほうが振り分けていただいた項目は、全て一つ一つやれるかどうかということをもまずは検討すべきだと思います。といいますのも、アンケートをとって、12 月議会で基本条例を制定した後のアンケートですから、これまでの議会改革に対する気持ちと、間違いなく意識は全議員変わってきていると思うのです。そういった中で、これには確かに書かなかつたけれども、実際こうやって検討項目が挙がってきたら、これは自分書かなかつたけれども、これも必要だよねというのは絶対あると思うのです。

だから、このアンケートの、確かに、例えばこの項目は 4 人いました、5 人いましたということも、それも大事だと思うのですが、基本的に皆さんこうやってこういうふうにやったらどうなんだろう、これいいんじゃないのかと出してくださったものに関しては、基本的にはまずこのテーブルの上に乗せて、皆さんからいろいろな意見をもらっていくという作業のほうが私はいいいんじゃないかと思います。それが、アンケートをとったことに対しての正しい私たちの対応の仕方になるんじゃないかと思うのですが。

◎小川正人委員長 他の委員の意見は。

◎管野恭子委員 もう既にやっているのは別にして、あとは山田委員がおっしゃったとおりだと思います。やっぱり改革ですので、一つ一つ、人数の有無を問わずにしっかり検討していくというのが姿勢として大事だと考えます。

◎佐久間儀郎委員 私が申し上げたのは、人数の多いほうからまずいきましょうよという意味合いで、それぞれの項目、お一人しか出さなかつたからそれは外すとかという、そういう意味合いではありません。検討の優先順位というか、多いほうからまず話し合いを、ご意見を皆さんと交わしながらと、そういう意味合いでございますので、全く 1 人の分というのを無視すると、そういう意味ではなく申し上げました。

◎**山谷清委員** 私は、検討するのはみんなやるべきかなと、一つ一つ、そういうふうには思っていますので、書かなかった分もあるわけですので、なるほどなというふうな部分もありますので、やはり検討をしていくべきだろうというふうに考えます。

◎**小川正人委員長** きょう濫谷君はいませんが、全委員の意見を聞くと、ここで選別はしないと。全てこれに載せたものは検討すると、そういうことでいいですね。  
（「はい」の声あり）

それで、検討した結果、やる、やらないという可否が分かれた場合は、過半数をもってこの委員会は実施するという今までどおりの方針でいいですね。最終的には、全議員との意見交換会での了承を得て成立するけれども、ここで意見が割れた場合は、過半数をもって可とする否とする、そういう取り決めでいきますよ。（「賛成です」の声あり）いいですね。（「はい」の声あり）全会一致でなくても。

◎**山田裕一委員** 私たち、全議員を代表して議会改革の大きなこうい担いというか仕事をさせていただいている中で、私たちがとにかく全会一致である必要は私はないと思います。過半数というのもいいと思うのですが、ただ、この一つ一つに対して、結果として全議員にお知らせする必要はあるのかなと思うのです。

◎**小川正人委員長** 結果はな。

◎**山田裕一委員** 結果として、過半数だからで取り上げます、過半数じゃなかったから今回は検討しませんということがいいのかどうかというのが、ちょっと私の中で正直しっくりきていないのです。といいますのも、確かに全議員を代表して私たちここで協議はさせていただくんですが、私たち以外の方が、もし「これはぜひやってほしいよね」というようなものがあつた場合に、ここだけでやる、やらないというのを決めてしまつて……。

◎**小川正人委員長** だから、承認をもらうというのは全議員からもらうよ。ただ、そこで異議ありとなつた場合は、その異議のある方から意見を述べてもらつて、その意見を、今、誰それ議員がこのような意見を述べていますけれども、これについて皆さんの賛否を伺いますと。これを実施すべきというのが、仮にここで否となされた場合であつても、過半数をもって逆転になる可能性は、それはあると思います。ただ、あくまでもここで決めたものを承認してもらえばそれでいいけれども、いや逆にいいと決めたものでも、もしかしたら否決される可能性もあるよ。場合によっては。それはそれで、だから、その意見交換会でもつて異議が出た場合は、改めて過半数をもって可

とするという形で臨めばいいんじゃない。逆の場合もあるし。

◎山田裕一委員　そうですね。委員長、済みません。そこのところの、私たちが、しっかりとこのアンケートに対しての説明責任というのを全議員に果たすことができるような、そういったしっかりしたものであれば、私はそれで構わないと思います。

◎小川正人委員長　だから、それは意見交換会のときに、各議員のほうからいろいろな質問等がもし出た場合は、私が中心となって説明するばかりでなく、各6名のこの委員をもって答弁するという形になると思います。今までもそうやってきたんだから。

◎佐久間儀郎委員　私は、我々は、今現在の任期を意識しています。7月30日までですから、その間に改革、検討すべき事項というのは限られてくるんじゃないかなという思いがありまして、ですから、この任期中にやれるというか、そういうものをまず抽出していくということが大事かなと思っていて、私が書きましたけれども、仮称の改革検討会議の常設というふうにお答えさせていただきました。それから、今回出てきたものを次の任期の議員にも継続していただいてやっていただくという思いもあってこの辺も入れてありますので、私たちがやる任期中に、最低これだけは何とか今の委員会でやろうじゃないかということ話し合うのがいいのかなと思っていました。だから、これは引き継いでいくと、次の会議に、ということで進められたらどうかなどは思っておりました。

◎小川正人委員長　だから、ここに3、4、5、6月。6月が黒斜線が入るけれども、事務局は、まずここがタイムリミットですよ。7月に入ってしまうと、おのおの立候補する予定の方については、そちらのほうは忙しくなるしな。そして、6月はあと……、実質的にはもう5月あたりまでに決めないと今期の決め方は難しいけれども、ただ、方法論としては、3月はこれとこれとこれと3つか4つ選ぶ、それでは4月はこれとこれとこれ、5月はこれととりあえず選んで、できなかつたら4月のやつは5月に繰り越してもいいし、4月まで全部予定どおり終わったら5月を早く入れてもいいし。だから、きょうできたら、この項目について、3月にやる項目はこれとこれとこれと優先順位というのか、これを見て、とりあえずは7月のやつはできないかわからないけれども、きょう出ている項目については全て7月までの予定に組み入れると、そういう作業をしたいと思うんだけど、いかがでしょうか。

◎山田裕一委員　賛成です。この項目、泉寿さん振り分けていただいたのを見ると、基本的にはこういう方向で、全てまずは何とかやろうという方向性で私は進めるべきだ



と思うのです。この中で書いてあるもので、決してマイナスなことってないんですよ。全て実現できれば、もうこれすごいなと思うのですが、基本的にもうパッと見ると、これちょっとだけ頑張ればもうすぐにでもできるんじゃないというものもありますので、もう基本的には、今委員長おっしゃられたようにスケジュールを組んで、これとこれはもう例えば3月で、4月でいけるよねというところは、やっぱりやるという方向で進んでいって私はいいいと思います。

◎小川正人委員長 そうした場合、この会議のペースね、例えば1週間に1回のペースでいくべきとか、2週間で3回とか、それとも3週間で2回がいいのか、ある程度目標とする会議の、俺はこの日は暇だから1週間に2回やって、2週間休んでまた1回という、やっぱり定期的に1週間に1回とか、それは事務局のほかの仕事もあると思うんだけど、どう考える、これ。作業の予定は。

◎佐藤泉寿議事係長 そうですね、ここに3月から7月まで書いてあるんですけども、委員長おっしゃったように6月ぐらいまでだろうなというふうには見ていました。今まで基本条例を検討していく中で、結構ハイペースでやってきたものでも、月2回が目いっぱいな感じだったんですけども、それを考えると、多くても月2回やればいいかなというふうに考えているんですけども。

そうすると、8回になりますけれども、その8回の中でまずどれをやっていくべきか。佐久間委員がおっしゃったように、新たな改革の体制づくりはして引き継がなくてはいけないので、必ずこれはやらなくてははいけないなとは思っています。

あとは、常任委員会、特別委員会のあり方は、ある程度見通しをつけて引き継がなくてはいけないかなというところも考えてはいます。

あとは、その他の項目ですけれども、会派代表者選出の際の正副議長の取り扱いとかというところも委員長が出していますが、ここははっきりさせておかななくてはいけない部分もあるので、そういった優先順位が高いものは前に持ってきてやってしまうとか、そういった方向で決めていただければよろしいかなというふうには思っております。

あとは、ここの中に実は入っていないけれども、ぜひこれは追加したほうがいいんじゃないかとかというものも、もしかしたらあるのかなというふうにもちょっと考えてはいたんですけども、もしそういうのがあれば追加もそれはいいのかなというふうに思っています。

◎小川正人委員長 ここでみんなが持ち込んで、18人の議員のほうから意見が出て、誰でもいいや、出たら、あとここで入れるか、日程にどう入れるか入れないかを随時あと議論していけばいいんじゃない。

そうした場合、今、事務局から日程的に月2回と、そういうペースでいくべきでないかと。そうした場合、1開催の時間を2時間から3時間の間と。そうした場合、もし午前中会議を行う場合は、ケース・バイ・ケースで午前中の場合は9時がいいのか9時半がいいのか10時が……、午後だったら1時とか、そういう決めようだな。午前中の会議だと、10時にするとどうしてもお昼にかかってしまうし。だから、午後中心でいくか。1時から4時ごろまでだと時間がとれやすいし。ある程度、基本姿勢を決めておいたほうがいいでしょう。1開催2時間から3時間の間というところ。

◎山田裕一委員 やはり2時間、頑張って何とか3時間ぐらいは実りのある会議にできればと思います。年度末、それから年度初め、さまざまな行事またはお仕事される方も出てくるとお思いますので、この日だったら午前中がいいんじゃないとか、午後というふうに決めてしまわないで、皆さんのスケジュールを事前に確認した上でいかれるほうがいいのかなと。午前中であれば9時ぐらいから会議を開催して、午後であれば午後1時からというところをまずスタンダード、基準として考えられてはいいでしょうか。

◎小川正人委員長 それでは、次回開催を決める場合、何時から何時までというのを随時決めていきます。定例化はしません。いいですね。

◎山田裕一委員 お願いします。

◎小川正人委員長 それでは、順に、まずきょうは、この項目を何月に当てはめるか、まず、この……。

◎佐藤泉寿議事係長 全てを割り振らなくても、優先のやつをとりあえず……、どうなるかやってみないとわからない部分もあるので、まずはこれを決めなくてはならないというところを何項目か決めていただければ。

◎小川正人委員長 とりあえず、3月にこれとこれとこれとこれをやるべきでないかと思われるものを、まず皆さんのほうから、この中から抜粋して提案してください。

◎山田裕一委員 上から順番にいかれたほうがわかりやすいのかなと。これだったらすぐやれるんじゃないのとか、確かに優先順位はあると思うんですけども、上から順番に1個ずつつぶしていく中で、これならすぐにでもやれるよねという中で、特にこ

これは優先順位を上げていきたいと思いますというふうにしたほうが多分わかりやすいと思うので、私、上から順番にまず確認して行って、これはちょっと時間をかけて議論する必要があるんじゃないかとかというところを、まず見通しを一つ一つ決めたほうが整理しやすいと思います。その後。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎小川正人委員長 今の方法で整理していきます。

まず上から、議案書・予算書をホームページに掲載する。これはいかがですか。

◎山田裕一委員 これは、もうすぐにでもやれるような感じがするんですけども。スキャンをしてPDFでアップすればいいだけの話なので、これはすぐにでもやれるんじゃないかと思うのですが、いかがでしょうか。

◎小川正人委員長 これは事務局がやる仕事だしな。

◎佐藤泉寿議事係長 これは、実は、議案書・予算書をデータ化しているのは当局側でしているんです。それで、その部分で、外に出すことを了解してもらえるかどうかという部分もあるんですけども、今は貸し出し閲覧というような状況です。

他市においては、議会の開会前から議案書をホームページにアップしているなんていうところもありますけれども、今現状で、議案書・予算書なりを外に出すということを了承してもらえるかどうかはちょっと確認しなくてはいけない部分ですし、そこがオーケーであれば、それはやれるという方向になっていくと思うのですが、そこら辺の話し合いというか、その部分があるかなということです。

◎小川正人委員長 それでは、今回は総務部長と副市長に来ていただいて、事前に、目的はこれだけでも、もし出席がかなわないのなら文書で返事もらってもいいし。だめだとかいいとか。もしくは、ここに同席してもらってもいいし。それでは、3月ということでもいいですか。

◎管野恭子委員 できるものから。

◎山谷清委員 3月でいいんでないですか。

◎小川正人委員長 次、常任委員会や全員協議会をネット配信するというの。具体的には、常任委員会は現状では無理だわな。ただ、どうしても常任委員会をネット配信したいというんだったら、当番制で総務財政は今回は本会議場を使うとか、そういう以外ないわな。どうしても機材がないんだから。

◎管野恭子委員 そうですね、これやるにはちょっと時間かかりますね。

◎山谷清委員 これはちょっと無理だ。

◎管野恭子委員 検討を要する。

◎小川正人委員長 予算と場所。だから、私が言ったように持ち回りで議場を使ってやるというんならだけど……常任委員会が議場というとなり広過ぎて、議論もかみ合わなくなるし、現行ではこれ、全員協議会にとめ置けばいいのではないかな。

◎佐久間儀郎委員 常任委員会の協議次第といたしますか、状況を、今回みたいに付託するか付託しないかということから始まってくるわけですよ。それだから、付託しないとすれば、ここはもう全て本会議でなされるので、私らは今回たまたまというか、全員の一致で3案件を常任委員会室でやるということになりましたけれども、ただ、それ以外はほかのところはやっていないとなれば、常任委員会は本会議場を借りて、そこでネット配信するということもありはありなんだよね。

◎小川正人委員長 無理すれば可能だけれどもな。

◎佐久間儀郎委員 そうなれば、あらかじめそういうふうに、こういう案件で常任委員会はやりますよということを知らせなければいけないわけですよ。その辺の手法もあるんだけれども。

◎山田裕一委員 佐久間委員おっしゃるのはわかります。ただ、ここでいう常任委員会をネット配信してください、したらいいんじゃないでしょうかというのは、多分そういうカメラを、それぞれの委員会室にもカメラをセッティングしたらどうですかということが多分大前提にあると思うのです。決して本会議場を使って常任委員会をやってくれという意味ではなくて、各委員会室にもカメラを入れたらどうでしょうかという案だと思うので、これは引き続き検討というふうに常任委員会はしておいて、私は……。

◎小川正人委員長 全員協議会はすぐできるしね。

◎山田裕一委員 いいと思うのです。

◎小川正人委員長 これは、分離協議するということでもいいんでないか。

◎山田裕一委員 今後の検討課題とすると。

◎小川正人委員長 3月に全員協議会はできるし、常任委員会は、とりあえずは今の時点ではちょっと無理だな。委員会では。

暫時休憩します。

午後1時33分 休憩

午後1時35分 開議

◎小川正人委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

これについては、全員協議会はネット配信すると、そういう方向で検討します。いいですね。

◎山田裕一委員 全協をネット配信するということは、私は賛成です。ただ、ネット配信するに当たっての事前の準備は、いろいろな面で必要だと思うのです。特に、この前、委員長もおっしゃられていましたけれども、全協のテーブルについて、資料をどんと置かれていて、それを当局の説明を聞いて、「はい、何か質疑ありませんか」と言われても、その資料を当日見て、自分でちょっと調査したり事前に調べたりすることもない中で、それもネットをライブ中継してというのもどうなのかなとやっぱり思うのです。だから、やっぱりライブ中継、ネット中継するからには、もうちょっと…。

◎小川正人委員長 3日前とかか。

◎山田裕一委員 全協やりますよと、私たちに事前にこういう内容ですよという資料もちゃんといただいた上で、それで全協に臨まないで、ただやったということだけになってしまうのではないかと思います。

◎小川正人委員長 全協というのは、ネット配信というのは、要するに当局が出席する会議だけだろう。例えば、我々だけで申し合わせ事項を決める全協とかもあるわな。この第2委員会室を使う、あれはネット配信は要らないから。だから、当局が出席を伴う……。

◎山谷清委員 議場を使ってやる場合のみのやつだ。

◎小川正人委員長 そのときは、提案するからには、我々に出席案内が来ると同時に、告示が来ると同時に資料も、議運は開かなくても、同時にポストに入れておいてもらえばいいんだ。大体3日前、やると決まった時点で資料も大体そろっているでしょう。普通は。

◎佐藤泉寿議事係長 その時点では来ないですね、なかなか。やっぱり開催日まで、それまでですね。

◎佐久間儀郎委員 それではだめなんだよ。

◎管野恭子委員 要請していけばいいんじゃないですか。

◎佐藤泉寿議事係長 委員長、ちょっと確認なんですけれども、今このテーマについて、もう検討に入っているわけではなくて、いつやるかというところを今、もうそこをもんでいるわけではないですよ。一つ一つもうそこをもんでいるわけではないので……（「中に入っちゃった」の声あり）入ってしまいがちなので、中に入るのはいつからかというのを……。

◎小川正人委員長 全員協議会のネット配信というのは3月、常任委員会は今これは6月以降。

◎管野恭子委員 オーケーです。私が提案したので。

◎小川正人委員長 議長交際費をホームページに公開する。これいつでもできる。使った場合は。3月ね。

行政視察、政務活動費による研修などの各議員の報告書をホームページに公開する。

◎山谷清委員 すぐできる。

◎佐久間儀郎委員 報告書なんかすぐつくるんだから。3月。

◎小川正人委員長 これも3月中に検討する。（「はい」の声あり）

次、本会議、常任委員会以外の会議の会議録をホームページに掲載する。特別委員会だもんな。特別委員会とかなんかの。

◎管野恭子委員 これ詳しく山田さんからもう少しお聞きしたいんですが。提案は山田さんとなっている。

◎山田裕一委員 私でよろしいですか。これまでも会議録のほうは、ホームページの方から検索をかけてそこを引っ張ってきたりということはできたんですが、やっぱり私こういう会議って非常に重要だと思うんですよ。全てでなくてもいいので、論点とか、こういったことがこの会議で議論されただけでもいいと思うのです。なかなか市民の皆さんで、議員さんで、どうせ議会やっているときしか行かないんでしょうという見方って非常に多いと思うのです。それ以外に、例えば議会広報だったり、それぞれの委員会も、今後主要河川、河川環境どうなるかわかりませんが、そういった全ての委員会活動も含めて、当然ですけれども、議会活動であり議員活動なので、そういった会議での議論されたようなところを、いついつの何々委員会ではこういった会議がなされて、会議の概要はこうですよというようなものをアップできれば、もっともっと「議員は何をやってんの」と言われるところに、少しでも応えられるんじゃないかなというふうな思いがあって、これは提案をさせていただきました。

- ◎小川正人委員長 わかりました。これを何月ごろ検討すればいいですか。
- ◎管野恭子委員 これはすごく大事なことだと思います。その前に、これをホームページに掲載するとき、事務局さん側ですぐにできるのかどうか、そのあたりをちょっと……。
- ◎小川正人委員長 それは、すぐできるかできないかは、あと職員の人員の問題も絡んでくるから。
- ◎山谷清委員 そういうことだな。
- ◎小川正人委員長 はっきり言って、今人員を実質減らされている人数だから。それを正規の人数に戻して、だから、まずやるかやらないかを検討するには、人員も——今度ほかのやつと関連してくるので、とりあえずは事務局がやれるかやれないかは別に、ここでやると決めたら事務局にもやっていただくような体制をつくってもらわなくてはいけないんだから。だから、これをいつごろ検討するんだか、これを4月か5月か。ちょっと3月に……。
- ◎佐久間儀郎委員 3月でできることを6月の議会でそれを実行するか、そういうことは……。
- ◎小川正人委員長 だから、これからは議会改革以外はないので、これは緊急性も要しないし、4月か5月ごろでいいんじゃない。3月に無理してやらなくても。そうでないと、全てが大事だろうと、3月が埋まってしまうからな。全部。（「そうだね」の声あり）これは人数もあるから。
- ◎山谷清委員 3月でなく、4月以降でもいいんでないか。
- ◎小川正人委員長 時間をかけなくてよければ。これ多分すぐは決まらないぞ。
- ◎佐久間儀郎委員 やるんだったら、6月議会に向けてそれを実行するとか。
- ◎小川正人委員長 それでは5月ごろだな。
- ◎佐久間儀郎委員 ということを考えれば、ちょっとその前に。
- ◎小川正人委員長 それでは4月。
- ◎佐久間儀郎委員 だから、3月に限ることではないし——そのぐらいにと思いますよ。
- ◎小川正人委員長 いいですか、4月ごろで。
- ◎山谷清委員 3月以降ならいいから。
- ◎小川正人委員長 4月とりあえず。（「はい」の声あり）
- ◎佐久間儀郎委員 ですから、議会改革特別委員会のほうで、あと何回は開きますから、

内容的なものはこうでしたよという要点でいいと思うのです。この辺が議論になってくるんですとか、そういうことぐらいの仕方でも、全部……。

◎山谷清委員 出すことはないな。

◎佐久間儀郎委員 それは要らないんじゃないのかなという。

◎小川正人委員長 それでは4月。

次、議会に対する市民アンケート調査を実施する。これは、アンケートを出すものだけでも、集計も大変だから、これは急ぐことないな。6月ごろでいいや、選挙前でも。そうすると、選挙前だと市民も関心あるから。議会に。どうですか。

◎山谷清委員 市民アンケート、終わってからでもいいんじゃないですか。

◎小川正人委員長 俺もそう思う。

◎山谷清委員 終わってからでいいんでないか。

◎小川正人委員長 7月ごろな、それでね。いいですか。

◎山田裕一委員 済みません、終わってからというのは何が終わってから。

◎小川正人委員長 選挙だろう。

◎山田裕一委員 選挙が終わってから。

◎小川正人委員長 そうすると、7月に当てはまるとやらなくていいということだよ。

とりあえずは、今期中は。

◎山田裕一委員 いつ実施するかは別として、ただ、やっていかなければならないんだと思うんです。このやるタイミングはいつかという、市民に対しての議会報告と意見交換会をやった後のタイミングなんだろうと思うのです。一番効果があるのは。

それで、各地区にそれぞれ班編成して出向いて私たちが行くわけですから、そういったものも踏まえて、そこで私はアンケートを配ってもいいと思うのです。来ている方に。それを集めることも可能だと思いますので、それがことしの例えば4月、5月ではないよと、来年だよということでもいいと思うのです。せっかく出されているので、これを前向きに検討しましょうと。それでは、前向きに検討したときに、いつならできるのかなというふうに考えると、やっぱり意見交換会の後あたりが一番効果としたらアンケートも集めやすいのかなという感じがするんですけれども。

◎小川正人委員長 はっきり言って。確かに、アンケートの規模をどの規模でやるかにもよってくる。例えば全市民対象にするのがいいのか、各自治会にお願いして100枚ずつ配るのがいいのか。多分、今回の議会報告会は、はっきり言って延べ100人か200



人、100人も集まればいいのかぐらい、はっきり言ってな。集め方にもよるけれども。だから、そうすると、100枚か200枚のアンケートでいいのか、アンケートの規模にもよるわな。

◎**管野恭子委員** 伊藤さんの提案のところを見てみますと、20歳以上の市民の中から無作為に1,000人を抽出し、市民ニーズ把握のための議会に対する市民アンケートを実施してはどうかと、こういうような……。

◎**山谷清委員** 全体的に捉えているんだね。

◎**管野恭子委員** かなり多くの人数という、無作為にという、そのところもどのように……、もちろんこのまま受けとめなくてもいいんでしょうけれども、アンケートという実施の仕方はいろいろだと思うんですけども、一応参考までにこういうふうに書いてありますね。

◎**小川正人委員長** そうした場合、今度予算が絡んでくるんだよな。郵送して、返信してもらおうと。大体、健康推進課とか、アンケートなんか、おら65歳以上で来ると、郵送で来て郵送で返すんだよね。だから、今回みたいに規模を、山田さんの言うとおりに、とりあえず何人来るかわからないけれども、アンケートをつくっておいて、報告会に来た人だけを対象とするというのだけ実施するのか。ただ、提案者の意思を尊重して、金をかけて人数をふやすのか。これ以上突っ込むと今度議論が長くなるから、これはいつ実施するか、これは……。

◎**佐藤泉寿議事係長** 伊藤さんの提案しているものは結構大がかりなもので、市民課の住基も使わせてもらわなくてはいけない部分もあったりしますし、発送の問題とかもございしますが、これを検討するのか、あと山田委員がおっしゃっているようなやり方、その議論を突っ込むと中に入ってしまうと、あと長くなってしまいうんですけれども、検討を前半・後半、3月、4月ということで決めるか、前半で決める、後半で決めるぐらいの感じにしてはどうなのかなというふうに思ったんですけども。

◎**小川正人委員長** はっきり言って、このアンケートは余り……。

◎**佐藤泉寿議事係長** 3月、3月、4月、4月と、この下ずっといったときに、なかなかどこから手をつけていいかというところもちよっと難しくはなってくるかなと思うのですが、一応前半・後半というぐらいな分け方にしていただければ、あとこちらのほうでチョイスしながらスケジュール管理させていただければと思っはいるんですけども、なるべく全部、ちよっと件数書いていませんけれども、この項目を6月末

までにやれるのかどうかという、なかなか厳しいかなとは思っているんですけども。

◎小川正人委員長 だから、アンケートの規模をどうするかだ。ただ、今から報告会に向けて報告書をまとめて、今度アンケートに何の項目を入れて、集計までしていくと大変だけれども。これは後半。（「賛成」の声あり）いいですね。

◎佐久間儀郎委員 前半というのは3、4月のことを言っているの。

◎小川正人委員長 そうそう。これは6月ごろだな。

次、土日、夜間議会の開催。これに対する意見。これも急ぐことないと思うね。いかがですか。

◎山谷清委員 当局の意見を聞かないとできないんでないか。

◎佐久間儀郎委員 私が書いた当人ですから、これは当局が絡んでくるので、その辺…

◎小川正人委員長 議論するには時間がかかる。1回、2回の会議で終わらないから。これも後半。いいですか。（「はい」の声あり）

次、議案審議に市民が直接発言する議会の検討って、これどういうことだ。これ誰。

◎佐久間儀郎委員 私だっけか。

◎小川正人委員長 意味はどういうこと。傍聴者にも発言させろということか。

◎佐久間儀郎委員 それは考えていませんね。

◎小川正人委員長 だから、議案審議に市民が直接発言する機会の検討という、直接という議場で発言させるか。

◎佐久間儀郎委員 本会議をイメージしたのではない。常任委員会というような、そういう意味での傍聴人というか、そのときに、出た方に意見を出していただくというようなことのイメージだったのかな。本会議はイメージしていなかったんですけども。

◎小川正人委員長 そうしたら議員が要らなくなる。

◎佐藤泉寿議事係長 多分これ、以前に、傍聴人という言葉はどうにかならないのかという話が出たときに、北海道の福島町で市民参画ということで発言の機会を与えているんです。そういったものなのかなと私はちょっとイメージしたんですが。

◎山谷清委員 本会議中に。

◎管野恭子委員 本会議ではなくて常任委員会。

◎佐藤泉寿議事係長 本会議です。

◎小川正人委員長 これも結論を出すには時間がかかり過ぎる。これも後半、6月、いいですか。（「はい」の声あり）

次、子ども議会・中学生議会・高校生議会の開催。これも急がない。これも後半でいいな。

◎佐久間儀郎委員 一般質問に高校生議会を出されているようなので。

◎小川正人委員長 次、空き店舗を利用した議員と対話できる場の設置。これも後半。6月以降。

議会に対する意見や感想の随時受け付け（議会ネットモニターの設置）。

◎佐久間儀郎委員 基本条例にモニターの関係はあったよね。

◎管野恭子委員 モニターはありました。

◎小川正人委員長 モニターを選ぶには、どうする、今期中に決めるんだったら早目に入らないと間に合わないし。例えば試験的に、この前お願いした谷津さんとか山田君とか。

◎管野恭子委員 これは、やろうと思えばすぐできるような話だと思うので、そういうふうに適切な方のお名前をいただいて、皆さんで検討して。

◎小川正人委員長 だから、その場合は、やればできるけれども、人数を何人に絞って、お願いする各層のあれをどの辺に絞るか。ただ、これもやっぱり会議でやるには1時間、2時間の時間は費やすべな。

◎管野恭子委員 前半の検討でいかがでしょうか。

◎佐久間儀郎委員 いや、後半にしようよ。

◎管野恭子委員 すぐにでもできそうな感じ。

◎山谷清委員 後半でいいんでないか。

◎小川正人委員長 後半でいいですか。

◎山田裕一委員 皆さんが後半でというのであれば後半でも構いませんが、今ライブ中継をやって、そのところにメッセージとして、「議会としては、ネットによるモニターも受け付けております」みたいな感じで表示してもいいのかなって私は思ったんですけれども。

◎小川正人委員長 だから、決めないで、随時返事もらえばいいんだろう。こう感じました、ああ感じましたって。

◎山田裕一委員 だから、誰々さんお願いします、誰々さんお願いしますといった場合、

その方たちも仕事もありますし負担になってしまうので、意識を持ってネット中継を見てくださっている市民の方が、言いやすいような環境づくりという意味で私は考えていたので、正直やろうと思えばすぐやれることなんです。どしどし気づいたことのご意見をお寄せくださいというところが、ライブ中継中に下に出ていけば……。

◎小川正人委員長 それでは、これはとりあえず前半で考えます。

◎山田裕一委員 よろしくお願いします。

◎小川正人委員長 次、事務局からの事務連絡等をFAXからメールにする。これは、今のFAXで問題ないだろう。

◎山田裕一委員 これは、両方が私はいいんだらうと思うのです。FAXはFAXですけども、今、皆さん携帯電話メールも持っていますし、行く行くはペーパーレスになっていくと思うのですが。

◎佐久間儀郎委員 ペーパーレスと絡むやつだね。

◎山田裕一委員 はい。ただ、多分私も含めて、結構スケジュールを携帯電話とかスマホで管理している方もいらっしゃるんで、案内を一応両方に流すという上では、「ああ、この日、会議だったの」という、そういったものを防止する一つの役割にもなるんですね。

◎小川正人委員長 俺はFAX派だけれどもさ。俺はFAXで管理している。

◎山谷清委員 俺もFAXのほうがいいと思うの。

◎山田裕一委員 FAXがだめという意味ではないです。

◎小川正人委員長 FAXと手帳で管理しているんだけどさ。

◎管野恭子委員 そういう方もおられるから、それはそれとしてね。

◎山田裕一委員 FAXは否定してないです。

◎小川正人委員長 メールで流すのは手間でないのか。

◎佐藤泉寿議事係長 FAXで送るプラスメールで送る手間というのであれば、それはメール分がふえる。

◎小川正人委員長 メール分の手間ふえるよな。

◎佐藤泉寿議事係長 ふえますけれども、つくっているデータは……。

◎山田裕一委員 でも、アドレスをパソコンに入れておいて、一斉に配信すればいいだけの話なので。

◎佐藤泉寿議事係長 手間といたら、別にそんな……。

◎山谷清委員 打つ手間だけなんだ。

◎佐藤泉寿議事係長 FAXだって、登録されている番号に流すだけですし。

◎山谷清委員 メールよりはFAXでもらったほうがいいような気がするな。

◎小川正人委員長 おらも。とりあえずこれ急がない。何も今すぐメールもらうほどでもない。

◎山谷清委員 後半でいいんでないか、後半で。

◎小川正人委員長 後半。

◎山谷清委員 そのときタブレットも考えましょう。

◎小川正人委員長 次、議場へのPCや質疑等に活用する資料等の持ち込みに係る取り扱い。これは早急に検討するべきだと思う。いいですか。（「はい」の声あり）これ3月にやります。

◎山谷清委員 パソコンばかりでないでしょう。タブレットもでしょう。

◎小川正人委員長 だから、それを含めて全部、IT機器及び一般質問の資料の持ち込み。

◎管野恭子委員 掲示できるものとかですか。

◎小川正人委員長 だから、それを検討するの。どういうものが、例えば大きさだったら1メートル以内とか、あとパソコンとか、何か余り音の出るのはだめだぞ、そのかわり。ピピピピって。とりあえず、それを検討します。

議案資料のペーパーレス化。

◎佐久間儀郎委員 上とかかわりませんか。

◎小川正人委員長 それはかわりない。議案資料というと、今度、議案とかなんかも全部パソコンとかなんかに打ち込んで、それを見ながら、これはいいけど、やっぱり俺はパソコン使ってしまうと……、これは検討は後で。これは後半でいいですか。（「はい」の声あり）

次、意見書の賛否について結論のみを持ち寄りでなく、議論する場が必要である。結局こういうことなんだろう。意見書が出て、そうすると、そこで協議も何もしないで、「はい、これは会派持ち帰り」と言って、会派から来て、「出します」「出さない」で、そういう流れなんだよ。今な。

◎佐藤泉寿議事係長 そのとおりなんです。議運の中で意見書を提出して、今回から基本条例の関係があったので、提出者の希望もあり意見を聴取したんです。それを聞いて

てから、今回は会派持ち帰りというふうにして持ち帰って、通常ですと次の議運のときに持ち寄って、これはオーケーと、これはだめというようなことになると。多分、水落さんおっしゃっているのは、そのときに、どうして、どこが何でいいのかとか、だめなのかというような話し合いが必要なんじゃないかと。

◎小川正人委員長 暫時休憩いたします。

午後1時57分 休憩

~~~~~

午後2時00分 開議

◎小川正人委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

これは後半。議会も6月1回きりしかないんだから。

次、新たな議会改革の体制づくり（改選後の体制づくり）。少なくとも、これはもう4月には入らないと間に合わないかわからないな。それとも5月でいいか、前半で。どうしますか。4月ごろにしておくか。（「はい」の声あり）

次、常任委員会・特別委員会のあり方。これは、河川環境とか常任委員会付託の問題だから、これは新しいメンバーでやるよりも、ここで作って次に引き継いだほうがいいだろう。

◎佐久間儀郎委員 現役の議員でもって。

◎小川正人委員長 内容のわかっている人で。これ4月にやります。（「はい」の声あり）

常任委員会視察旅費について。これ旅費だから、もう6月だな。はっきり言って、前半は常任委員会視察をやらなくて決めてるんだから。ただ、旅費をどうするかというのは、隔年でやるとかそういうこと。これ私出したんだっけか。

◎管野恭子委員 小川さんになっているね。

◎小川正人委員長 まあ急がないけれども。

◎山田裕一委員 後半。

◎小川正人委員長 5月ごろでいいや。5月、6月。とりあえず6月。

通年議会の是非。これも6月。

議会事務局の職員数について。これ3月だ。3月に申し入れしておかないと、もう人員決まってしまうから。だから、今までだと、0.5人として議会は今までどおり認めていかないかは——これ3月にやります。いいですね。（「はい」の声あり）

議会改革度ランキング上位議会について全議員で調査研究するということは、これ

も後半だな。

専門家による研修会の開催。この3つ大体同じような問題が絡むので、全部上から見ると研修会に絡む問題だから、とりあえず5月ごろだな。

◎山谷清委員 後半ね。

◎小川正人委員長 後半の前半というか。専門家による研修会の開催、年間研修計画、新人議員への研修会、これを5月ごろ。いいですか。（「はい」の声あり）

各議員が年間目標を設定し、報告会で検証する。これ後半。いいですか。（「はい」の声あり）

近隣議会との交流を図れるような協議会の設置。これも後半だな。（「はい」の声あり）

市内高校への議会傍聴呼びかけ。これも後半でいいや。

◎山谷清委員 後半だね。

◎小川正人委員長 正副議長任期の申し合わせ。これは、うちは申し合わせも、申し合わせというのは正確には出ていないので、仙台とか多賀城とか2年交代でやっているところは、聞くところによると全議員の了解のもと2年だよと。ただ、再任は妨げないとか、そういうものをやっているの、今までうちの議会というのは、最大会派を選出する数を持っている人たちの申し合わせで、全会一致での議会の申し合わせではないので、ずっとこれを2年という申し合わせをするのかしないかを、どうなるかわからないけれども、検討する必要があるの、これはできたら前半ここでやりたいと思うんだけど、いかがでしょうか。4月ごろ。いいですか。（「はい」の声あり）

次、会派代表選出の際の正副議長の取り扱い。これ俺が出しているんだけど、今の正副議長は会派に属さないで1人会派だけれども、そういう申し合わせもないわけだ。だから、会派に属している場合は、代表の選出基準に入れないとか入れるとかを決めておくということ。当然、正副議長は代表者会議に出るんだから。ただ、会派に属していると、今のだと人数に入るわけだ。

◎管野恭子委員 正副議長を入れるか入れないかの話ですね。

◎小川正人委員長 そう、計算の基礎にな。

◎管野恭子委員 今回は入っていませんよね。

◎小川正人委員長 今回は申し合わせではないけれども、管野恭子さんが選ばれたのは4人の中から代表1人で、正副議長は、私たちは1人で代表は選びませんよというこ

とがあったから、なったのよ。だから、これ決めておく必要はあると思うのね。

◎佐久間儀郎委員 これは、すぐやったほうがいいんじゃないですか。

◎小川正人委員長 これは、すぐできるものだ。

◎山谷清委員 これはすぐできるから。

◎小川正人委員長 4月ごろでいいや。もう決まっているんだから。

次、公式行事への正副議長欠席時の対応。

◎佐久間儀郎委員 正副議長欠席。両方欠席。

◎小川正人委員長 暫時休憩します。

午後2時06分 休憩

~~~~~

午後2時08分 開議

◎小川正人委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

これはすぐできるので3月。そうすれば、委員長も議会を代表するという——委員長の重みもあるから。今だめなんだよ。

次、長期欠席等の場合の議員報酬の減額。これも私が出したんだけど。

◎管野恭子委員 当然のようにも思えるんだけど、ただ、これを我々が検討できる内容なのかどうかということについて伺います。

◎小川正人委員長 暫時休憩いたします。

午後2時08分 休憩

~~~~~

午後2時10分 開議

◎小川正人委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

これについては後半でやります。長期とみなすというところどこで長期になるかわからないけれども。2カ月以上を長期とみなすか、3カ月以上を長期とみなすか、そういうのを検討する。いいですね。（「はい」の声あり）

◎佐藤泉寿議事係長 1点だったんですけども、議会事務局の職員数についてというところで、前半、3月というふうにおっしゃったんですけども、多分もうその時点では人事案は出ていますね。

◎山谷清委員 決まっているよな。

◎小川正人委員長 これだけきょうやるか。

◎佐藤泉寿議事係長 もうその次の年度のお話で。

◎小川正人委員長 暫時休憩いたします。

午後2時11分 休憩

~~~~~

午後2時15分 開議

◎小川正人委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

きょう用意された協議事項は以上でございます。

◎佐藤泉寿議事係長 今いろいろスケジューリングを協議していただけたと思いますので、それをもとに前半なり後半なりということで振り分けていきたいなとは思っております。

あと、今回出させていただいたこの項目ですね、全ての項目について検討していくんだということになりましたけれども、これを全議員のほうに諮って了承を得ておかななくてはいけないのかなと思うんです。これを示して、これを特別委員会のほうで検討していくよというところを諮るのに、わざわざ皆さんに集まってもらうというよりは、最終日に議員報告会があるので、その最後のところで委員長のほうから——これを事前に出しておいて、このペーパーを事前に出しておいて、これからこれを検討していくということを報告いただく形でどうかなというふうに思っておりました。

◎小川正人委員長 いいんじゃないかな。だから、取り入れる可否は、議員の6名のうちの過半数をもって取り入れると。ただし、皆さん方からこれを否決された場合は、議員の半数以上の数をもって否決、もしくは復活する場合も半数をもってチャンスはありますよと。「最終的には全員で決めることです」とだけ、ちゃんとルールだけは明確にしておくよと。

◎山田裕一委員 はい、賛成です。

◎小川正人委員長 そういう形で、今までもそうでしたけれども、今後もこういう形で進めさせてもらいます。そういうことでいいんだよな。

◎佐藤泉寿議事係長 最終日に委員長から報告をいただくということで。

◎小川正人委員長 私のほうからしますから。

◎佐久間儀郎委員 4日にやってもらってね。

◎山田裕一委員 よろしくお願ひします。

◎小川正人委員長 あとは、きょう何か皆さんのほう、きょう用意されたものがある。

◎管野恭子委員 特にありません。

◎小川正人委員長 ないね。

それでは、次回。忙しい山田さん。

◎山田裕一委員 泉寿さん、大体いつごろいいですかね。

◎佐藤泉寿議事係長 スケジュールをもう一回つくってみまして、3月、3月というふうに出てきているものの中から、まず最初ピックアップということで、そのためのいろいろ資料とか検討する時間も考えたいなと思うので、あと調整させていただければと思うんですけれども。

◎山田裕一委員 わかりました。

◎小川正人委員長 それでは、3月4日の最終日までに日程確認をいたします。いいね。

(「はい」の声あり)

何もなければ、閉会としてよろしいでしょうか。(「はい」の声あり)

どうもご苦労さまでした。

閉会といたします。

~~~~~  
午後2時17分 閉会

白石市議会委員会条例30条の規定により、ここに署名する。

議会改革特別委員長 小川正人